

第2学年英語科学習指導案

日時 平成23年9月30日(金)5校時
学級 2年1組(男子16名女子16名計32名)
場所 2年1組教室
指導者 寺林 かや乃

1 単元名

Unit 5 A Park or a Parking Area ?

(東京書籍 NEW HORIZON English Course Book 2)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、都市部では大変身近な社会問題である駐輪場建設を巡る話題を取り上げている。駅前の違法駐輪が原因で、女の子がケガをしたことを受けて、市民の間から「新しい駐輪場が必要」との声がおき、市は公園をつぶして駐輪場にすることを決める。しかし、市民から反対の意見もあがる。「公園か、駐輪場か」のようなジレンマは、多くの今日的課題に共通する困難点である。この種の問題について、賛否の論点を整理し、解決法を模索する態度を養いたい。

ある意見に対して、自分の考えや賛否やその理由を示したりすることができるよう、文章にまとめて書いたり、発表できる力を養っていきたいと考える。

(2) 生徒観

これまでの学習で、新出文型を用いて自分や周りのことを表現したり、自分で考えて英文を作る「オリジナル英作文」に取り組んできた。しかし、「英文日記」や「夏休みの思い出」なども3連文程度書かせることがほとんどであった。ここでは、学習した接続詞を用いて、「つきたい職業」について4連文で、まとまりのある内容を書かせたい。

さらに、その4連文を対話文にして、グループの中やクラスの生徒の前で発表し合うことによって、自信をつけさせたり、まとまりのある内容を聞いて理解する力をつけさせたりしたい。

英語に対して積極的に取り組む生徒も多い反面、基礎事項が充分身につけておらず学習に困難を感じている生徒もいる。思考力・判断力・表現力を育成するために、ペア学習やグループ学習を仕組んだり、事前に書きたい内容を考えさせておき、その内容に沿ってお助けプリントを作成・配付したりして、低位の生徒も楽しく学習に参加できるように支援していきたい。

(3) 指導観

1学年の言語活動では、自分の気持ちや身の周りの出来事などについてコミュニケーションを図れることを目標に設定してきた。2学年では、1学年の学習内容に加えて、事実関係を伝えたり、物事について判断したりすることを目標にしている。

この学年は表現活動として、これまで各単元の本文の暗唱の他に、書く活動として「日記」「わたしの夢(職業の希望)」「夏休みの思い出」などに取り組んできた。

本単元では、「自分のつきたい職業」について接続詞を用いて表現させることを通して接続詞の定着を図りたいと考えた。そのために、本時の発表に向けて、つきたい職業とその理由について、生徒が家庭で考えてくると、その表現の仕方を可能な限り自分で調べてくるとを課題としてきた。本時では、調べてきた表現について、グループ内での検討時間やペアでの暗唱の練習時間や確保してから、発表できるよう指導したい。

今回の取り組みを通して基礎事項の定着を図り、ペアでの発表に慣れさせてから、自分の考えを述べたり、賛成・反対の意見とその理由を述べたりという活動につなげたい。

3 単元の目標・指導計画・評価規準

(1) 目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・ if, that, when, because などの接続詞を用いて、正しい英文を作ろうとしたり、対話を続けようとする。

【表現の能力】

- ・ 接続詞を用いて、自分の意見を述べるができる。

【理解の能力】

- ・ 市がある決定したことを伝える英字新聞の記事や、新聞の投書欄にのった意見を読み、その内容を正しく読み取ることができる。

【言語についての知識・理解】

- ・ if, that, when, because などの接続詞の運用における、基本的な知識を身につけることができる。
- ・ 新聞記事の構成の仕方について知ることができる。

(2) 指導計画と評価規準

- ・ 接続詞を用いた文の形・用法・意味を理解し、表現できる。
- ・ 新聞記事や投書を読んで、内容を理解し、それを参考にして、簡単に自分の意見を述べるができる。

時間	学習活動	評価規準 (評価方法)			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化についての知識・理解
1	・ 学習のねらいを確認し、単元の見通しをもつ。 ・ when 節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現する。		・ when 節を用いて話したり書いたりできる。 (学習シート、発表)・		・ when 節の用法を理解することができる。 (観察、発表)
2	・ because 節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現する。		because 節を用いて、対話したり、自己表現している。 (学習シート、発表)		・ because 節の用法を理解することができる。 (観察、発表)
3	・ if 節を用いた文の形・意味・用法を理解し表現する。		・ if 節を用いて、話したり書いたりできる。 (学習シート、発表)		・ if 節の用法を理解することができる。 (観察、発表)
4	・ that 節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現する。		・ that 節を用いて話したり書いたりできる。 (学習シート、発表)		・ that 節の用法を理解することができる。 (観察、発表)
5 本時	・ 接続詞を用いて自分のつきたい職業についてまとめて書き、発表する。	・ グループ内で正しい英文を作ろうとしている。 ・ ペアで対話を続けようとしている。	・ 接続詞を用いて、自分のつきたい職業についてまとめて書き、発表できる。 (対話カード)	・ 仲間の発表を聞き、内容を理解できる。 (聞き取りカード)	

6	<ul style="list-style-type: none"> ・ Starting Out の内容を理解する。 ・ Dialog の内容を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ ファックスの内容を理解することができる。(学習シート、発表) 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ Reading for communication の内容を理解する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事の構成を考えながら内容を理解することができる。(学習シート、発表) 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続詞を用いてメモをもとに新聞記事を書く。 ・ テレビのニュースを聞いて、その要点をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を聞き取ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続詞を用いて、新聞記事を完成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースを要点をつかむことができる。 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5時に完成した英文を文化祭の作品として完成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよい作品を仕上げようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 綴りや字体に気をつけながら、よりよい作品を作ることができる。

4 本時の指導

(1) 目標

- ・ 接続詞を用いて、自分がつきたい職業についてまとまりのある英文を完成し、発表できる。

(2) 評価規準

評価場面	具体の評価規準		努力を要する (C) 生徒への手立て
	十分に満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がつきたい職業についてまとまりのある英文を完成させる。 ・ グループ内や学級の生徒の前で発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとまりのある英文になるように、書くことができる。 ・ 完成した英文を暗記してペアで対話しながら、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わからない表現は、日本語に置き換えるなどして、英文を書くことができる。 ・ 完成した英文をときどき見ながら発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒントを与えながら、書きたい内容を確認させる。 ・ 完成した英文を、見ながら発表できる。

(3) 展 開

段階	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 (教師の指導○ 評価◎ 研究の視点☆)
導 入 10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 ・「リズムで覚えよう」で基礎事項を確認する。1 ・家庭学習を確認する。 ・学習課題を把握する。 	<p>○関心を持たせ、授業に対する前向きな態度を作る。 (ポイントカードに記入する。以下PC)</p> <p>☆【家庭学習内容の関連づけ】本単元で学習した接続詞を用いての英作文の確認(暗唱・書き取り)を行う。(PC)</p> <p>○授業の目標を明確にし、生徒に意識させる。</p>
展 開 35 分	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">接続詞を使って、自分のつきたい職業について対話しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 (when, because, if ,so) を用いて、自分たちがつきたい職業について、対話文を書く。 ・完成した英文についてグループ内で検討する。 ・ペアで練習する。 ・グループ内で発表し、評価し合う。 ・クラスの前で発表する。 	<p>○英文を書く際の質問に答える。</p> <p>○発表を聞いて、よりよい英文になるようにアドバイスする。</p> <p>◎完成させた英文を発表できるか評価する。(PC)</p> <p>○発表された英文を聞き、内容を理解するようにさせる。</p>
終 末 5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をふり返り、次時の学習内容(持ち物)を確認する。 	<p>◎取り組みを自己評価し、PCに記入する。</p> <p>☆【家庭学習の課題設定】本時で完成した英文を書けるように練習してくることを、確認する。</p>